

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	TODAY児童デイサービス鶴ヶ舞		公表日		R7年3月1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12		施設が広いので大きさを生かした療育が可能なので適切です。	もう少しスペースを区切って療育に集中できる環境を整えることが必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	5	終日、職員の配置に関しては適切な人員を配置するようにシフトなどを工夫しています。	人員体制に余裕はないので人員の確保を行っていく事が必要。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12		文房具や玩具などを区切ってしまっているので遊びや療育の際に取り出しやすいようしまっているところに名前を着けています。	特に改善点や課題などはありません。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	12		生活空間に関しては児童が帰宅した後の施設の清掃を日々行っております。	特に改善点や課題などはありません。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	1	児童の使用も許可している為、環境は整っています。	大まかにしか区切られていないため、パーティションなどでさらに区切れると集中できるので改善していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	2	朝礼終礼の際に業務に対する改善を都度行っています。	数名参加が難しいときもあるので議事録などを残していき改善していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	2	多くの保護者様から頂いた評価表を基に今後どうしていくかなどの会議を行っています。	改善をすぐにできないものの中にはあるので目標を施設全体で計画していき改善に繋げていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1	話し合いの場を多く作っています。	議事録の作成をし、意見を業務内で改善していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	4	常勤職員は外部評価から業務改善に繋がっています。	アルバイトさんなどは評価を受けてもらえない事があるので朝礼終礼共有を行って改善していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	4	常勤職員に関しては研修など予定が入っていない場合は共有し受講できる環境は整えております。	特に改善点や課題などはありません。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	1	公表しております。	特に改善点や課題などはありません。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11	1	面談の中で児童のできる事、以前との変化などを聞き、良い事は伸ばしていけるように支援計画を作成しております。	特に改善点や課題などはありません。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	2	面談などを行った際、朝礼で児童の面談内容を共有しあらゆる視点から児童の支援を検討しております。	共有の時間があまり取れていないので時間が多く取れる日に関しては時間を多く使い検討していきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	2	支援計画の内容に関しては職員同士が把握できるように共有を行っています。	いつでも支援内容が計画通り行えるようにファイルなどを作って可視化をし、改善していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	1	日々の観察して変化があった児童に関しては終礼で共有しています。	特に改善点や課題などはありません。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	1	ガイドラインに則した支援内容の家族支援、本人支援を踏まえ、児童に適した支援に順位をつけて支援内容を設定しています。	今後もガイドラインを踏まえながら短期・長期目標の支援内容を設定していきます。

援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	3	当日の1名の職員が活動プログラムを決め、主として行動してもらい他の職員も行動しています。	児童に合わせたプログラムを立案していけるように施設全体で連携していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	1	様々な運動や療育プログラムを行っております。	その日の児童に合わせたプログラムができるように日々のプログラム変化にも対応して改善をしていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11	1	児童に合わせた支援を行っております。	特に改善点や課題などはありません。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12		朝礼を行っており、支援の内容共有などを行う際に以前と変化があった児童に関しては話し合いを行っております。	連携が出来ていない部分もあるのでチームで動いている意識を持ち支援を行っていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	2	終礼で日中に支援した児童に対しての細かな変化があった際は共有を行っております。	終礼の時間が少ないときもあるので十分に時間を取って共有して改善していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12		日々の支援を記録して次の支援に繋げられるようにしています。	特に改善点や課題などはありません。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	1	定期的にモニタリングは行っており、児童の記録についても日々見れるようにしています。	特に改善点や課題などはありません。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	1	児童発達支援管理責任者や管理者が出席をして参画しています。	事前に他の職員にも児童の状況などを聞いた上で参画していけるように改善していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12		協力医療機関や学校、他の児童発達支援事業とも連絡を取り合い支援の体制は整えております。	特に改善点や課題などはありません。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	3	情報共有は都度変化があった際に連絡を取り合っております。	相互理解に部分でまだ上手くできていないので深めていけるように連絡多く行い改善してまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	1	どういう特性、こだわりがあるかなどの情報共有は行っております。	26番と同様に相互理解の部分まで共有は出来ていないので改善していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	4	工夫していることはありませんが電話などで連絡する機会があります。	特に改善点や課題などはありません。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	9	特に交流する機会はありません。	特に改善点や課題などはありません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12		共通理解は全職員で相違がないように朝礼や日々の変化があった時点で共有しております。	口頭で伝えることが多いので分かりやすくまとめた記録などを用意して状況の把握と共通理解を深めてまいります。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	4	個人情報の観点から参加できる研修などはしていません。	特に改善点や課題などはありません。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12		契約時に一つずつ内容を話し、不明な点はないように確認を取りながら説明を行っております。	特に改善点や課題などはありません。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12		面談の際に保護者様からの目標を基に同じ方向を職員も向いていけるよう児童の成長具合を見て支援計画を作成をしております。	職員全体での意見も踏まえながら支援の内容を作成していく事で様々な視点の支援内容が作成できるので現状の課題になります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12		児童発達支援計画の同意を得て支援を行っております。	特に改善点や課題などはありません。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	1	保護者様からの相談があった際はすぐに改善ができるように助言や支援方法を変えたりなど児童に応じて行っております。	特に改善点や課題などはありません。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	8	保護者様同士の交流は現状考えておりません。個人情報の取り扱いも厳しい時代ですので慎重に対応しております。	特に改善点や課題などはありません。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12		対応できる職員がいる場合は迅速に対応しております。	当日にいない場合の対応がまだ不十分なので適切な流れを作り共有して対応していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12		毎月活動内容を折込にて配布しております。	特に改善点や課題などはありません。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12		個人情報は鍵の付いた場所での保管、全職員の個人情報の徹底を行っております。	特に改善点や課題などはありません。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12		文面での情報共有をさせていただいたり、一つずつ理解してもらえようように話を分かりやすくして伝えております。	今後も継続していくと同時に意思の疎通に理解を深めていく事が課題です。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	9	個人情報の観点から招待などはしておりません。	特に改善点や課題などはありません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	3	全てのマニュアルを作成しており、全職員に目を通してもらい理解してもらえようように会議で話しています。	目を通して理解だけではなくアウトプットしていけるように改善していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	2	避難訓練などは定期的に行っており、実際に起きた際にも迅速に対応できるようにしております。	研修の中でも理解を深めて適切な対応が全職員できるように改善していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12		契約時や、服薬に変化があった時などに都度聞いており、その都度全職員に共有を行い、全職員が目を通せる場所に掲示している。	特に改善点や課題などはありません。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12		契約の際、事前にアレルギーについて保護者様からお聞きし、対応しています。変化があった場合も都度お聞きしています。	特に改善点や課題などはありません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12		日々支援の中で危機管理など職員同士で連携を取って支援を行っております。	特に改善点や課題などはありません。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12		児童の安全のためにどう対応するかなどを保護者様からお聞きし対応の仕方を決め説明を行い対応しております。	特に改善点や課題などはありません。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	2	毎月月末に職員に共有を行っております。	常に目を通せるような場所で保管をして再発防止対策を全職員が把握できるように対策していきます。

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12		虐待を防止するために研修は会社や、施設での研修を確保しており、事例を用いて適切な対応を行っております。	特に改善点や課題などはありません。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12		身体拘束を行う方針はありません。ですが他害や自傷などの時にどう止めるかなどを保護者様とお話をして決めています。	特に改善点や課題などはありません。